

アンケート結果(参加者 20 名中 17 名に回答していただきました。一部を紹介します)

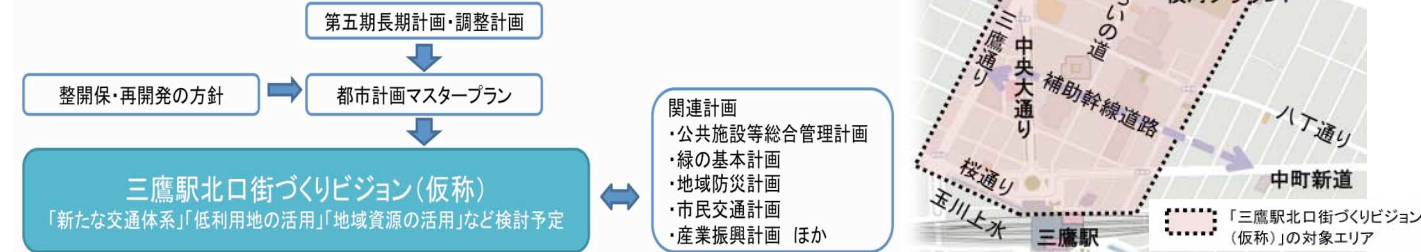
1.三鷹駅北口街づくりの方向性や取組みについて、言い足りなかったこと

- ・三鷹に住んでいると言うと、三鷹市と思う人がほとんどなので、三鷹北口ではなく、「ミタキタ」などネーミングを考えてはどうか。
- ・企業を呼べるだけの支援が必要。
- ・玉川上水の南側(三鷹市)の方の意見も聞いてほしい。
- ・企業の誘致は否定しないが、住民のみなさんの視点を優先して進めてほしい。

2.そのほかにご感想、自由意見など

- ・若者にもう少し街に来てもらうとともに、高齢者を含め、いきいき暮らせ、仕事ができる北口になってほしい。
- ・駅前で平和像を見ながらお茶ができると嬉しい。

三鷹駅北口 街づくりビジョン(仮称) の位置付け



三鷹駅北口街づくりビジョン(仮称)の方向性と主な施策について(抜粋)

・以下は、意見交換会で説明したビジョン(仮称)の方向性と主な施策の抜粋です。

基本的な方向性

住む人、働く人が集い、心地よく過ごす街

- 住む人と働く人が共に利用する街として、将来にわたって活力を維持する持続可能な街を目指す
- 企業集積を促進し、住む人だけでなく働く人を呼び込み、バランスのとれた活力ある地域を形成する。
- 街に関わる人がビジョンを共有し、地域経済を支える企業や将来性のあるベンチャー企業を誘致する。
- 緑豊かでゆとりある居心地の良い環境の中で、知的交流・活動など充実した時間を過ごす街を目指す。

土地利用の方向性

周辺住宅と企業が調和する街

- 競争力のある業務地を形成
- 市有地を三鷹駅北口全体の資産として活用

主な施策例

- 競争力のある業務地を形成する面的な規制誘導
- 市有地の有効活用

交通環境の方向性

快適に移動できる交通環境が整い安全で歩きやすい街

- 歩いて楽しい歩行空間の創出
- 駅前広場をゆとりある交通結節点として改善

主な施策例

- 駅周辺の新たな交通体系
- ゆとりある歩行空間の創出
- ゆとりある駅前広場の再編

緑・にぎわいの方向性

玉川上水の豊かな緑のもとににぎわいが生まれる街

- 玉川上水を活用し、三鷹駅北口の顔となる空間づくり
- 街中空間の活用
- 街づくりを担う主体の育成

主な施策例

- 玉川上水の活用
- 街中空間の活用
- にぎわいの体制づくり

武蔵野市都市整備部まちづくり推進課

TEL: 0422(60)1872 MAIL: SEC-MACHIDUKURI@city.musashino.lg.jp

発行日 平成 28 年 12 月



三鷹駅北口の未来を考える 意見交換会

Part.2

～みたか北ぐち・みらいカフェ～

mitaca kitaguchi

mirai cafe

三鷹駅北口の未来を考える意見交換会を開催しました



武蔵野市では、今後の都市基盤のあり方を描く「三鷹駅北口街づくりビジョン(仮称)」を策定し、街の再整備を進めていきたいと考えています。

今年の 3 月に開催した、三鷹駅北口の魅力や課題について考える意見交換会に引き続き、この度 10 月 31 日に「みたか北ぐち・みらいカフェ パート 2」を開催しました。近隣にお住まいの方や周辺でお仕事されている方、総勢 20 名の方が参加してくださいました。

パート 2 では、前回にいただいたご意見を踏まえて検討した三鷹駅北口の全体の方向性について、「土地利用」「交通環境」「緑・にぎわい」の方向性や取組みについて市が説明を行い、その内容についてグループに分かれて意見交換を行いました。どのグループからも具体的な意見を多くいただき、有意義な会となりました。



三鷹駅北口の全体の方向性、「土地利用」「交通環境」「緑・にぎわい」の方向性や取組みについて市の説明を聞きました。

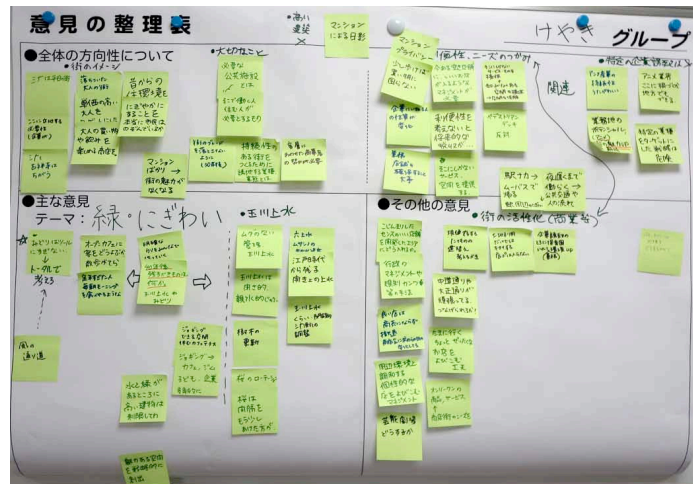


三鷹駅北口街づくりビジョン(仮称)について様々な面から考えました。

市が説明した三鷹駅北口の全体の方向性と、「土地利用」「交通環境」「緑・にぎわい」からテーマを選択し、グループに分かれて意見交換を行いました。主な意見を紹介します。

けやきグループ

テーマ：「緑・にぎわい」



三鷹駅北口は平日の街であり、心豊かに過ごせるという印象なのだから、大人の豊かさが街の魅力として考えられないかという意見が出ました。3～40年後も街のグレードが落ちないよう玉川上水や緑を残し、それを大きなファクターとして、周辺環境とマッチするような個性的なお店を呼び込むことや、働く人が利用しやすい場所を設けるなど、魅力的な空間を戦略的に創出する必要があるということでした。

●主な意見

- ・ジョギングできる空間や休憩できるカフェがあると良い。
- ・にぎやかにすることを市民が望んでいるかは疑問であり、大人向けの買い物や飲食を楽しめる店があると良い。
- ・中道通りや大正通りから人の流れをつなぎたい。
- ・緑をツールとして、街づくりをトータルに考えるべきである。
- ・持続性のある街をつくるために、誘致する企業の業種や業態はなんだろうか。

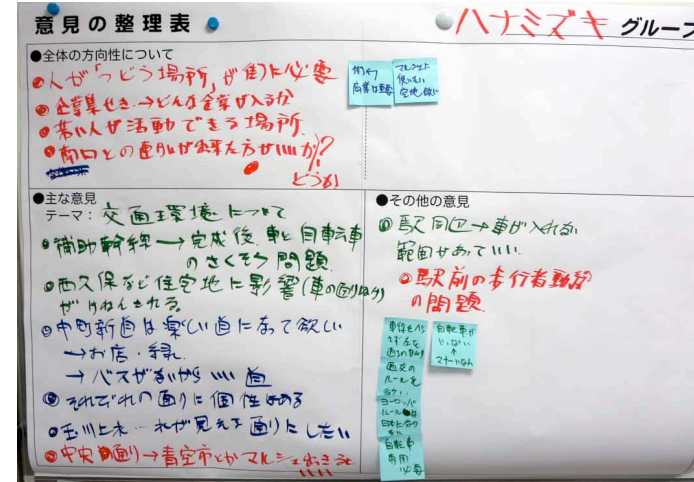
玉川上水を緑の軸として大切にするとともに、中央大通りや三鷹通りの街路樹が良く、その特徴は活かすべきとの意見でした。また、三鷹駅北口のにぎわいとは何かを確認し、最近若い方々が経営する小さなお店ができて良い雰囲気になっていることもあるので、住む人、来街者が足を止められる、歩いて楽しめる街になると良いということでした。企業誘致については、三鷹駅北口の街づくりに賛同する企業が来てほしいということでした。

●主な意見

- ・玉川上水は暗く、柵が多く入りにくい。きれいな緑道にしてほしい。
- ・駅前にゆっくり座れて平和像が見れるようなオープンスペースがほしい。
- ・かたらいの道を歩行者の軸としてにぎわいをつくる。
- ・ビルの1階部分をオープンカフェにしたり、キッチンカーを呼び込みたい。
- ・三鷹駅前に若い人のお店が増えているため、市でも支援してほしい。
- ・三鷹の街を理解してくれる企業を誘致してほしい。

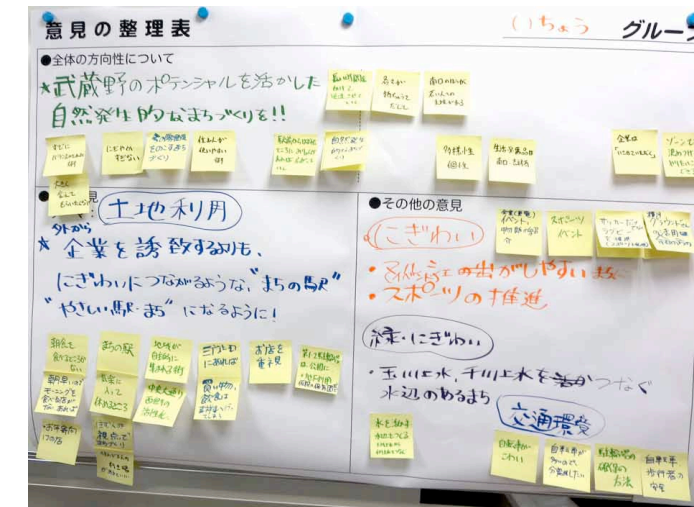
はなみずきグループ

テーマ：「交通環境」



いちようグループ

テーマ：「土地利用」



人が集う場所が街に必要であること、若い人が活躍できる場所を設けるべきという意見などが出ました。交通環境については、補助幹線完成後には道路空間を有効活用し、駅前広場で問題となっている通勤時間帯の歩行者の錯綜について、企業とも連携しながら解決するのが良いのではないかとのことでした。また、中央大通り、かたらいの道や桜通り、中町新道など、個性を活かした道づくりをしたいという意見がありました。

●主な意見

- ・交通環境も企業との連携が必要。
- ・車線数の減少や駅前広場の拡張により、人が集う場所を創出してほしい。
- ・企業集積は必要だが、どんな企業が入るか不安。
- ・南口と連携した街づくりが良いかどうかは課題である。
- ・玉川上水は、開渠にしてほしい。
- ・街が良くなるのであれば、超高層にならないようなまとまった開発はやるべきだ。

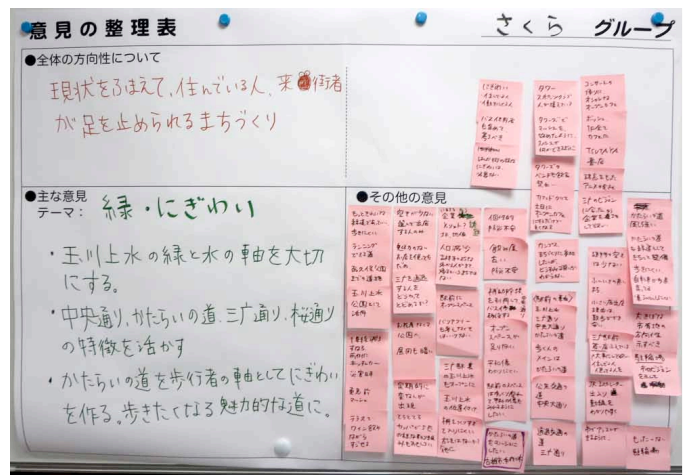
三鷹駅北口は、今のバランスで十分よく、武蔵野にある三鷹駅北口のポテンシャルを活かして、自然発生的にもう少しにぎわいを持つような街づくりをしたいということでした。お年寄りや赤ちゃんを連れた人などが気軽に語り合える「街の駅」があったら良いという意見や、街全体でスポーツを推進したり、マルシェを通して集まりたいという意見が出ました。また、水辺の街にしたらもっとにぎわいが生まれるのではないかと意見もありました。

●主な意見

- ・住む人が使いやすい街づくりをしてほしい。
- ・企業誘致はいいが、特定の業種だけに偏らない方が、街の持続性が保たれると思う。
- ・南口の三鷹市の方が創業支援が充実しており、武蔵野市にも同じような支援があったら良い。
- ・出社前に朝食を食べる店があると人気が出ると思う。
- ・マルシェが開催しやすい街にしてほしい。
- ・自転車が多いので分離するなど対策が必要。
- ・玉川上水と千川上水をつなぐ水辺のある街、水辺をつくりたい。

さくらグループ

テーマ：「緑・にぎわい」



意見交換会を終えて(司会より)

- ・各グループ、それぞれのテーマについてアイデアや必要な視点について考えていただき、トータルでバランスの取れた街のビジョンが見えてきました。今後とも意見交換の場の継続が必要だと思います。